

世界遺産熊野古道を活用した集客交流事業

概要

熊野市の高齢者比率は36.9%であり、平成17年～22年までの5年間で人口減少率は7.8%となっており、過疎高齢化は、当市における最大の課題となっている。

一方、平成26年3月に紀勢自動車道が全線開通、平成26年7月には、世界遺産熊野古道が世界遺産登録10周年を迎えるなど、集客交流を図る絶好の機会を迎えたため、世界遺産・熊野古道を活用し、①交流人口の増加、②熊野のファンづくりにより交流頻度の増加を目的に各種事業を実施。

三重県熊野市



事業の内容

総事業費 10.9百万円

付加価値の創出（熊野古道ウォーク+α）

●熊野古道謎解きアドベンチャー事業(2,578千円)

謎解きを楽しみながら熊野古道を歩く事業を実施

●熊野古道よみがえりウェルネスツアーIN熊野開催事業(413千円)

健康増進を目的とした熊野古道ウォークを実施。高齢者でも簡単に高い運動効果が得られるノルディックウォークの実施とヘルシーメニューを提供するツアーを商品化。

満足度の向上（新規及びリピーターの獲得）

●熊野古道客に対する2次交通確保対策事業(5,352千円)

熊野古道への送迎を図るために無料のシャトルバスを運行。

●観光コース作成PR事業(500千円)

従来の観光名所等を羅列するパンフレットの切り口を変え、通に受けるテーマを絞った観光コースを作成。「熊野〇〇めぐり」と題し、テーマ別に5種類のパンフレットを作製・PRを実施。

情報発信（外国人観光客の誘致）

●観光アンバサダー推進事業(965千円)

在日外国人及び留学生を観光アンバサダーに任命し、熊野古道を中心とした観光資源の情報をSNSや母国の旅行サイト等を通じて情報発信する。

●観光案内スマホ活用事業(1,064千円)

スマートフォンアプリを活用し観光情報や観光案内を実施。日本語だけでなく、英語・中国語・韓国語に対応した情報発信を実施し観光情報の多言語化を図った。



熊野古道シャトルバス



観光アンバサダー任命式



よみがえりウェルネスツアー

事業の成果

高速道路の全通及び熊野古道世界遺産登録10周年の効果もあり、平成26年の熊野市内の熊野古道来訪者数が過去最高の227,339人（前年比+35%）を記録。アクセス向上により、個人の来訪客はもとより、本事業で開始した熊野古道への2次交通（無料シャトルバス）の利用を行程に含んだツアーの販売が予定されるなど交流人口・交流頻度とも増加傾向にある。今後も熊野ファンづくりによるリピーター拡大を目標に、交流人口と交流頻度の増加に取り組む。